特定非営利活動法人ぷらちなくらぶ

平成28年度(2016年度，第16回)通常総会議案書

日　　時：平成29年5月26日(金)　10：00～
場　　所：特定非営利活動法人ぷらちなくらぶ　1F

1.開会挨拶

2.定足数の報告・議長選出

3.議事録署名人選出

4.議題
第1号議案　平成28年度事業報告承認の件
第2号議案　平成28年度決算報告承認の件
第3号議案　平成29年度事業計画（案）承認の件
第4号議案　平成29年度予算（案）承認の件
第5号議案　役員（理事・監事）選出承認の件
第6号議案　その他報告事項

5.閉会挨拶

第1号議案

平成28年(2016年)度 事 業 報 告 書

自平成28年4月 1日
至平成29年3月 31日

Ⅰ.事業

1.事業概要

平成28年度は体制の変革期に入りつつも、各事業の体制を維持しながら、安定した事業運営に取り組むことができた一年となった。

「居宅介護支援事業」「訪問介護事業」「総合支援事業」
産休取得者をカバーし、各事業部内外で連携しつつ、法人の基盤として、安定した事業運営をすることができた。また、従事者不足の中において、従事者同士の協力とサービス提供責任者の創意工夫により、安定した支援サービスの提供ができた。

「スマイル事業」
地域における連携を意識した様々な取り組みとともに、日々職員同士の情報共有と改善を進めつつ事業に取り組み、小規模多機能ならではの利点を生かした運営ができた。

「子育て応援隊事業」
現場従事者の不足、コーディネーター体制の変革等、運営に課題が発生する中、地域の子育て支援の様々な利用者ニーズに応えながら、加えて複数の講座運営委託事業に取り組む事ができた。また、収益の改善を行政に働きかけ、次年度の単価改善につなげる事ができた。

「児童デイ事業」
個別ニーズや困難な事例も増える中、職員全員で考え、保護者、医療機関と連携しながら、利用児童の自立に向けた取り組みを進める事ができた。

「サロン事業」「独自(子育て)事業」
これまでの運営実績を元に、地域の子育て支援に関わる立場として、利用者の意見を踏まえながら運営を進め、事業の安定化を図った。

・各事業が連携したイベントを開催し、充足させ、様々なコミュニティに対しても活動場所を提供して、地域密着の関係性をつくり、事業運営を進める事ができた。
・職員一人一人が現状に対して振り返り、課題や今すべきこと、自分にできる事を考え、行動する意識を持つようになった
・事務局機能、法人経営体制を一新し、収益の整理と管理業務の整理、再構築に取り組んだ。
・これまでの会計顧問、労務顧問体制に加え、新たに法律顧問を加え、今後予想される様々な内外の対応に備えて法人の基盤を整え、経営の安定化と整理を実行した。

2.事業活動概要

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事人数	受益対象者の範囲及び人員	売上実績（千円）
介護関連	居宅介護支援事業所 「ぷらちなぷらん」 ・ケアプラン作成事業	9:00-18:00	利用者宅	3人	のべ 1,355人	18,829
	訪問介護 ・介護保険、訪問介護事業	24時間毎日	利用者宅	42人	のべ 575人	21,212
	小規模多機能型居宅介護 「スマイルぷらちな」	24時間毎日	施設及び 利用者宅	17人	のべ 登録215人	64,527

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事人数	受益対象者の範囲及び人員	売上実績（千円）
障がい関連	総合支援 ・相談/総合支援、居宅介護 ・ガイドヘルプ、生活支援（身体介護・家事援助・外出介護）	24時間毎日	利用者宅及び介助先	42人	のべ 950人	67,171
	ぷらちな児童ディ ・放課後等デイサービス事業	平日9:00-19:00 （送迎時間含）	ぷらちな事務所1F,2F	10人	のべ 3,799人	32,275
子育て関連	あだち子育て応援隊 （子育てホームサポート事業） ・一時保育	6:00-22:00	利用者宅	サポーター のべ 1,864人	のべ 12,878人	75,547
	・月ぎめ保育	8:00-18:00	利用者宅及び支援者宅		のべ 204人	
子育て関連	新田キッズルーム ・幼稚園送迎ステーション事業 ・地域人材連携サロン事業	送迎ST 平日7:30-9:30 16:00-19:00 サロン 平日10:00-16:00	新田キッズルーム（新田3）	5人	のべ 送迎ST 239人 サロン3,713人	12,701
	ちびっこガーデン(子育てサロン西新井） ・子育てサロン事業	10:00-16:00 （閉館日除）	ちびっこガーデン(栗原1)	13人	のべ 一時預1,102人 サロン85,040人	
	サポーター養成講座/ 家庭的保育補助者基礎研修	夏/秋2回, 冬1回	げんき /学びピア	のべ 20人	のべ 60人	662
	地域保健センター 男女参画プラザ集団保育事業	9:00-18:00	区内各保健センター等	のべ 457人	のべ 893人	1,814
	一時保育独自サービス		利用者宅	のべ452人	のべ510人	

3.事業の成果

(1)居宅介護支援事業所「ぷらちなぷらん」

・利用者が自らが自立した在宅生活ができるよう、地域全体を視野に入れ制度化、組織化されているサービスはもちろんインフォーマルなサポートの状況を把握し、事業所、ご家族と連携して、共通の認識のもとに利用者の自己決定を尊重した目標を設定し、チームによるケアを心がけ、さまざまな情報提供や助言をするなど、側面的に介護保険サービスを提供出来る様努めることができた。

・利用者に対して専門性の高いプランが提供出来る様、都、区、地域包括等の研修に参加し、自己研さんに努めることができた。

(2)訪問介護事業/障がい者総合支援事業

・利用者本位である為に、現場サイドからのケア内容の適正化を支援チームとして提案し、改善することができた。

・職員重視に基き　資格取得講習を受講できた。（サービス管理責任者:1名、喀痰吸引研修:3名、同行援護従業者研修:4名、行動援護従業者研修:2名）

・社会福祉協議会主催研修会等にも積極的に参加し、定例会にて報告して、ヘルパーに内容を共有し、質の向上に繋げる事ができた。

・処遇改善の一端として、移動手当・研修手当の整備、有給休暇の取得推進ができた。

・H28.10から、日常生活総合事業の受け入れ態勢を整えて、サービス提供することができた。

・相談支援事業では、他事業部や地域と連携を取りながら、利用者の生活全般を支える支援計画を立案し、実行することができた。

(3)小規模多機能型居宅介護「スマイルぷらちな」

・28年度に計3回実施したぷらちなカフェにより、近隣の住民・近隣施設の職員・利用者との交流の場を持つことができた。準備をする過程において、居宅介護支援事業所を中心にカフェの案内とともに、スマイルぷらちなの説明等、宣伝活動を行う事で、周知する範囲をわずかではあるが拡大する事ができた。また、運営推進委員会と合同開催により、地域包括支援センター職員も参加して、様々な立場の人々が一つのテーブルを囲み、話す機会となった事は、今後も継続していくべきものと改めて感じた。
・介護職員としてのスキルアップをはかるため、小規模多機能連絡会にて実施される研修会への参加を促し、毎回2、3名の職員が参加し、排泄・食事介助、認知症についてなど様々な事を学んだ。

(4)児童ディサービス

・足立区子ども部会の連絡会に2ヶ月に一度参加し、他事業所と連携を深める事ができた。
・利用者、保護者のニーズに応じた支援に、チームで取り組んだ。
・支援内容として、昨年度に引き続き、おやつ作りや野外での支援を積極的に取り入れる活動をした。
・スマイルぷらちなとの交流(誕生会・おやつ作り)、近隣の作業所(なないろ園)、マック等へ出かける買物トレーニングを行った。

(5)あだち子育て応援隊(子育てホームサポート事業)

・職員や外部の講師の講演を増やしたり、フォローアップ研修等定例会の内容を充実させた事で、サポーターの出席率も良くなり、資質のレベルアップを図る事ができた。
・各エリアともに一時預かりの依頼が増加した事に加え、月ぎめ保育の依頼も増加した。
・養成講座の運営においては、大幅なサポーター増に結び付ける事が出来なかったが、新たなコーディネーター体制の増強等を実施し、指導経験と体制強化を行う事ができた。
・先駆者の事業所として制度自体に対しても、積極的に意見を行政に対して提案し、事業の適正化に働きかけ、一歩を進める事ができた。

(6)新田キッズルーム

・区と協働事業の幼稚園送迎ステーション事業、地域の親子サロンの運営において、サロン運営については運営費が出ていない中、利用者の組織化と更に踏み込んだ活動の活性化を促し、地域で作り上げる施設を目指し、様々な方々の協力を得て企画やイベントを継続できた。
・送迎ステーションはキャンセル待ちが常に発生する状況が続いているが、OB保護者主導によるチャリティバザー、自主制作の手芸品販売などを継続し、収益金をキッズルームの設備改善に役立てながら、様々な意見を踏まえ、地域で作り上げる場の雰囲気が浸透した。
・運営の課題抽出を利用者とともにすすめ、一緒に考える雰囲気を生み出した。

(7)ちびっこガーデン

・他の子育てサロンと比較にならないほど、区内外様々な利用者が多数訪れる中で、利用者の気持ちに配慮し、接遇をチームで考え対応してはいるが、個々の資質の部分で指摘を頂く場面もあり、課題をチームミーティングで整理し、改善策を立て、より解決に近づく対応を考えあう姿勢は続いており、チームの深い一体感で運営を進める事ができた。

(8)サポーター養成講座

・ぷらちなくらぶの経験、人脈、つながりを生かした講座組み立ては進められたが、運営上の課題の指摘があり、改めて運営方法の振り返りを実施した。
・サポーターの増加とぷらちなくらぶの姿勢のアピールのための一助として、今後も積極的に関わる立場をとっていく

(9)地域保健センター/男女参画プラザ集団保育事業

・リーダーに対する指導を徹底し、コーディネートに手間がかからない様、効率化した運営を継続する事ができた。
・サポーター資格を持たない人材を活用しながら、育成し、将来のサポーターやコーディネーターにつなげる仕組みとして確立した。
・安定した事業運営が評価され、他の公的な機関からの依頼が伸び、ぷらちなくらぶの子育て支援の姿勢がとても評価されている。

(10)一時保育独自サービス

公的サービスでは対応できないニーズに対する、この取り組みが評価され、紹介による依頼が増加した。ただ、ボランティア運営の範疇は限界に近づいており、適正な運営のために、現状を踏まえ、収支の見直し等の検討の必要があると思われる。

Ⅱ.組織運営関係全般

・職位等級制度、キャリアパス、法人内教育体系を整理し関連付け、昇給の取り組み、ルール化に取り組んだ
・地域との交流、他団体や人材交流を積極的に進め、ぷらちなくらぶの強みを社会に対して生かす方策を一緒に考え、外部の人や組織が持つ力やつながりを活用、吸収して、法人の独自性や関係性を構築することを進めた。
・部門ごとにキーとなる人材に対して、意識づけ、育成し、責任と権限を明確した組織作りに取り組んだ。
・外部のリソースを活用して、アウトソース活用できる部分を試行した。
・ぷらちなくらぶ独自の社内制度(各種表彰、地域交流、教育受講)を広げ、法人内の活力と事業の幅を広げる取り組みを進めた。
・新規事業の相談支援事業のスタートにより、総合支援、児童デイ等、全体の幅を広げる事ができた。

平成28年度　　決算報告書

第　16　期

自 平成 28 年　４月　１日
至 平成 29 年　３月３１日

特定非営利活動法人　ぷらちなくらぶ

第2号議案

平成28年度(2016年度) 決 算 報 告 書

貸借対照表

平成29年3月31日 現在

Ⅰ 流動資産	72,313,041	Ⅰ 流動負債	36,938,919
Ⅱ 固定資産	129,926,296	Ⅱ 固定負債	78,027,000
Ⅲ 繰延資産	288,640	Ⅲ 正味財産	87,562,058
合計	202,527,977	合計	202,527,977

活動計算書

自:平成28年4月1日

至:平成29年3月31日

(特定非営利活動損益の部)			
第1項 特定非営利活動法人	296,350,550	第1項 事業費	238,261,522
		第2項 管理費	44,699,255
(特定非営利活動外損益の部)			
第1項 受取利息・雑収入他	114,779	第1項 支払利息・雑損失	2,326,396
		第2項 法人税等	3,361,094
(繰越利益の部)			
前期繰越利益	79,744,996	次期繰越利益	87,562,058
		(当期利益)	(7,817,062)

平成28年度　特定非営利活動に係る事業会計　財産目録

平成２９年３月３１日　現在

特定非営利活動法人　ぷらちなくらぶ　（単位：円）

科　　目	摘　　要	金	額	
Ⅰ　流動資産				
現　金	現金手許有高	684,529		
普通預金	みずほ銀行/綾瀬支店2037635	16,133,262		
	みずほ銀行/綾瀬支店8116855	5,725,901		
	城北信用金庫	1,504,224		
	谷中郵便局	7,119,141	31,167,057	
前　渡　金	従業員前渡金	61,570		
預　け　金	リサイクル預託金	13,980		
未収入金	東京都国民保険連合会	30,000,012		
	足立区(委託料他)他	9,216,426		
	利用者負担分	1,705,292		
	従業員未収分	394,234	41,391,514	
貸倒引当金			-245,530	
流動資産　合計				72,313,041
Ⅱ　固定資産				
(有形固定資産)				
建物	足立区加平1-8-23 232.47㎡	36,564,949		
建物付属設備	スマイル内装工事			
	電気・給排水・空調・ガス設備			
	昇降機			
	本部空調設備			
	本部３Fサンルーム	7,069,310		
構築物	スマイル造作工事、看板			
	前面歩道改修	5,921,981		
車両運搬具	軽自動車1台、ステップワゴン1台	84,083		
土地	足立区加平1-8-33 157.18㎡			
	足立区加平1-8-46 71.05㎡	77,829,403	###########	
有形固定資産　計				127,469,726
(無形固定資産)				
ソフトウェア	介護ソフト2件			
	ﾜｲｽﾞﾏﾝIDC　ｼﾞｬﾆｽ自立支援ｿﾌﾄ	951,520	951,520	
無形固定資産　計				951,520
(投資その他の資産)				
保　証　金		1,300,000		
敷　　金		12,000		
長期前払費用	スマイル　更新料	193,050	1,505,050	
投資その他の資産　計				1,505,050
固定資産　合計				129,926,296

Ⅲ　繰延資産	公共施設負担金（水道管工事）	288,640	288,640	
Ⅲ　繰延資産				288,640
資産の部　合計				202,527,977
Ⅱ流動負債				
借入金	日本政策金融公庫	67,427,000		
借入金	日本政策金融公庫	10,600,000		
未払金	公募に係る利息	216,533		
未払消費税等	当期確定申告分	4,266,000		
未払費用	3月分給与等	28,066,576		
預り金	源泉所得税他	1,028,910		
未払法人税等	当期確定申告分	3,360,900	114,965,919	
流動負債　合計				114,965,919
負債の部　合計				114,965,919
Ⅲ　正味財産の部				
前期繰越正味財産			79,744,996	
当期正味財産増加額			7,817,062	
正味財産合計				87,562,058
負債及び正味財産合計				202,527,977

平成28年度　特定非営利活動に係る事業会計

貸　借　対　照　表

平成29年3月31日現在

特定非営利活動法人　ぷらちなくらぶ

（単位　：　円）

科　目	金　額	科　目	金　額
資産の部		負債の部	
流動資産		**流動負債**	
現金	684,529	借入金	78,027,000
普通預金	30,482,528	未払費用	28,066,576
前渡金	61,570	未払消費税等	4,266,000
未収入金	41,315,964	預り金	1,028,910
預け金	13,980	未払金	216,533
貸倒引当金	−245,530	未払法人税等	3,360,900
流動資産合計	**72,313,041**	**流動負債合計**	**114,965,919**
		固定負債	
		固定負債合計	0
固定資産		**負債合計**	**114,965,919**
（有形固定資産）		正味財産の部	
建物	36,564,949		
建物付属設備	7,069,310		
構築物	5,921,981	前期繰越正味財産	79,744,996
車輌運搬具	84,083		
土地	77,829,403		
（無形固定資産）		当期正味財産増加額	7,817,062
ソフトウェア	951,520		
敷金	12,000		
保証金	1,300,000		
長期前払費用	193,050		
（投　資　等）			
繰延資産	288,640		
固定資産合計	**130,214,936**	正味財産合計	87,562,058
資産合計	**202,527,977**	**負債及び正味財産合計**	**202,527,977**

平成28年度　特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

特定非営利活動法人　ぷらちなくらぶ　　（単位:円）

科　　目	金		額
（資金収支の部）			
Ⅰ．経常収入の部			
1.　会費・入会金収入		13,000	
正会員会費	13,000		
2.　事業収入		294,739,265	
ケアマネ事業	18,829,662		
訪問介護・総合支援事業	88,383,169		
小規模多機能型居宅介護事業	64,527,002		
児童デイサービス事業	32,275,179		
子育て支援事業	90,724,253		
3.　助成金・寄付金収入		1,598,285	
経常収入合計			296,350,550
Ⅱ．経常収出の部			
1.　事業費支出		238,261,522	
ケアマネ事業費	12,809,820		
訪問介護・総合支援事業	67,937,602		
小規模多機能型居宅介護事業	53,006,660		
児童デイサービス事業	22,775,301		
子育て支援事業	81,732,138		
2.　管理費支出		44,699,255	
給料手当	14,741,535		
退職金	725,000		
福利厚生費	1,364,539		
採用教育費	310,274		
広告宣伝費	425,880		
旅費交通費	2,565,934		
通信運搬費	2,038,547		
消耗什器備品費	1,233,676		
事務用品費	733,751		
修繕費	237,770		
保険料	845,045		
租税公課	826,150		
交際費	142,813		
水道光熱費	940,252		
法定福利費	2,122,432		
リース料	1,735,416		
減価償却費	2,562,126		
消費税等	6,565,300		
諸会費	10,700		
支払手数料	570,893		
支払報酬料	3,856,288		
寄附金	10,000		
貸倒引当金繰入	15,530		
雑費	119,404		
経常収出合計			282,960,777
経常収支差額			13,389,773
経常外収益			114,779
受取利息	1,277		
雑収入	113,502		
経常外費用			2,326,396
支払利息	1,551,409		
雑損失	774,987		
当期収支差額			11,178,156
法人税等			3,361,094
当期正味財産増減額			7,817,062
前期繰越資金有高			79,744,996
次期繰越収支差額			87,562,058

計算書類の注記

自　平成28年4月1日

至　平成29年3月31日

1 重要な会計方針に係る事項に関する注記

固定資産の減価償却の方法

有形固定資産　　定額法　　定率法

無形固定資産　　定額法

税法上の繰延資産の処理方法

有効期間にわたり均等償却をしております

引当金の計上基準

貸倒引当金　　債権の貸倒の損失に備えるため、一般債権について法人税法の規定による法定繰入率により、回収不能見込額を計上しております

リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております

消費税等の会計処理方法

税込方式によっております

2 貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額　25,829,558円

3 固定資産の増減内訳

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
建物	43,314,842	0	0	43,314,842	6,749,893	36,564,949
建物付属設備	17,878,900	0	0	17,878,900	10,809,590	7,069,310
構築物	13,507,139	0	0	13,507,139	7,585,158	5,921,981
車両運搬具	769,000	0	0	769,000	684,917	84,083
土地	77,829,403	0	0	77,829,403	0	77,829,403
合計	153,299,284	0	0	153,299,284	25,829,558	127,469,726

4 借入金の増減内訳

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
短期借入金	0	0	0	0
長期借入金	93,342,000	10,530,000	25,845,000	78,027,000

特定非営利活動法人ぷらちなくらぶ
理事長　小谷典史　殿

平成 29 年　5 月 25 日
特定非営利活動法人ぷらちなくらぶ
監事
鈴木晋作

私は平成 29 年　5 月 25 日、特定非営利活動法人ぷらちなくらぶの事務所において、平成 28 年度(平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで)における業務に対して監査を実施し、次のとおり報告いたします。

1.監査の方法と概要

(1)業務監査については、事業計画に基づき議事録綴りその他関係書類を閲覧するほか、理事会およびその他会議に出席し、業務報告を聴取するなど、必要と思われる監査方法により、業務執行の妥当性について監査した。

(2)会計監査については、収支予算書を参考に、収支について帳簿および関係帳簿並びに証拠書類の閲覧突合せなど必要と思われる監査方法により、計算書類の正当性について監査した。

2.監査意見

(1)事業報告書の記載内容は真実なものであることを認めます。

(2)理事の業務執行について、監査の結果、不正行為または法令、定款に違反する重要な事実はないものと認めます。

(3)収支計算書、貸借対照表および財産目録は会計帳簿の記録、金額と一致し、当方人の収支状況および財政状態を正しく表示しているものと認めます。

以上

第3号議案

平成29年(2017年)度 事 業 計 画 (案)

自 平成29年4月 1日
至 平成30年3月 31日

Ⅰ.事業
1.事業概要

【利用者、職員、地域生活者、全ての人々が自立した社会をめざす】
職員はもとより、子どもから高齢者まで、ひとりひとりが地域に生活する上で、自分ができる事を一つ一つとらえ、生かしながら、自立して社会に関わる事ができるよう、新たな仕組みや、つながりを展開していきます。
各事業において、5つの柱を念頭に、工夫しながら事業をすすめ、収益の意識をもち、一人一人が主体者として他者と連携し、社会全体で取り組めるような関わりを持った地域作りを進めます。

(1)利用者本位
・・その人らしさを適切に理解し、その人らしさを生かす事に焦点をあて、その人にあった個別の支援方法と計画を立案して実施しつつ、振り返りながら工夫していく。

(2)職員重視
・・職員同士で学び合い、互いを尊重しながら、自己向上や経済的保障を踏まえ、個別面談を活用し、定性的な価値もきちんと評価していく。

(3)安心と安全
・・内外のリスクマネジメントについての知識を深めると共に、行動の抑制や禁止ではない利用者/職員自身の対峙能力(危険予知、回避、防御など)の向上を目指す。

(4)地域密着
・・他事業、他団体、企業、学校などとの連携を積極的に進め、地域で自立した関りを継続できるよう、様々な社会資源を活用していく。

(5)独自性
・・今現在の実情を正確にとらえ、それを考慮した制度や仕組みを目指して、ひとりひとりが周囲に積極的に働きかけ、全ての人々が楽しく幸せに感じられるような社会を作り上げる。

2.事業活動概要

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事人数	受益対象者の範囲及び人員	売上計画(千円)
介護関連	居宅介護支援事業所 「ぷらちなぷらん」 ・ケアプラン作成事業	9:00-18:00	利用者宅	4人	のべ 1,500人	19,000
	訪問介護/総合事業 ・介護保険訪問介護事業	24時間毎日	利用者宅	50人	のべ 600人	23,000
	小規模多機能型居宅介護 「スマイルぷらちな」	24時間毎日	スマイル施設及び利用者宅	20人	のべ 登録250人	70,000
障がい関連	総合支援/相談支援事業 ・総合支援、居宅介護事業 ・ガイドヘルプサービス、生活支援 (身体介護・家事援助・外出介護)	24時間毎日	利用者宅及び介助先	45人	のべ 1,200人	75,000
	ぷらちな児童ディ ・放課後等デイサービス事業	平日9:00-19:00 (送迎時間含)	ぷらちな事務所1F,2F	10人	のべ 4,000人	35,000

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事人数	受益対象者の範囲及び人員	売上計画（千円）
子育て関連	あだち子育て応援隊 (子育てホームサポート事業) 一時保育、月ぎめ保育、ホームヘルプ(産前産後家事支援)	6:00-22:00	利用者宅	サポーターのべ1,800人	のべ13,000人	75,000
		8:00-18:00	利用者宅及び支援者宅		のべ200人	
子育て関連	新田キッズルーム ・幼稚園送迎ステーション事業 ・地域人材連携サロン事業	送迎ST 平日7:30-9:30 16:00-19:00 サロン 平日10:00-16:00	新田キッズルーム（新田3）	5人	のべ 送迎ST 240人 サロン4,500人	13,000
	ちびっこガーデン(子育てサロン西新井) ・子育てサロン事業	10:00-16:00 (閉館日除)	ちびっこガーデン(栗原1)	10人	のべ 一時預800人 サロン85,000人	
	地域保健センター/男女参画プラザ集団保育事業	9:00-18:00	区内各保健センター	500人	850人	1,700
	一時保育独自サービス		利用者宅	250人	300人	

3.事業目標

(1)居宅介護支援事業所「ぷらちなぷらん」

・利用者が自らの意思に基づき、自分らしく、自立した質の高い生活を送れるよう社会的に支援する。
・医療をはじめ他事業と連絡調整を行い、利用者のニーズに沿う援助を各専門家と協議し、利用者に適切なサービスが提供できるよう協力し援助していく。
・利用者に対して、社会資源の紹介や専門性の高いプランが提供できる様、都、区、地域包括等の研修会に参加する。
・当法人の他事業の定例会・勉強会に参加し、広い視点から利用者情報の収集に努める。

(2)訪問介護事業/障がい者総合支援事業/相談支援事業

・介護事業は、H28年度に利用者人数は2割程度増加したが、売上の減少が見られ、原因として介護度の高い利用者の減少による利用単価の減少が考えられたことから、今年度は新規拡大よりも、現存の利用者のサービスの質の向上を目指し、看取りまで支えられる体制をつくりに力を注ぐ。
・心のふれあいを大切にし、その人らしい生活を支え、共に考え、サービスを提供する側/受ける側双方が満足できる環境づくりを目指す。
・平成30年度の法改正を踏まえ、対応できる職員の確保を積極的にすすめる。（資格取得・スキルアップ等）
・実践に基づいた研修を定例会で行い、現場でのイレギュラーな状況にも柔軟に対応できる人材を育成する。

(3)小規模多機能型居宅介護「スマイルぷらちな」

・小規模多機能とは何かを職員が学ぶために、スマイルぷらちな以外の事業所の見学や複数事業所で行われる催しに参加する機会を設け、意見交換の場とし、比較する事で、偏った考え方、方針を見直すとともに、自分たちの優れた部分を理解し強みとしていく。
・28年度に開始した、ぷらちなカフェを広報/宣伝活動の材料として、地域包括・介護支援事業所への報告を定期的に行っていく事で、新規利用者の獲得へつなげる。

(4)児童ディサービス

・区内でも40を超える事業所が設立されており、これまで以上に事業所の特色(高齢者や地域との関わり)を全面出しつつ、利用者増に加え、自立の為の支援を追及し、一人一人の個別性、特性に合った支援を追求していく。
・児童一人一人に合わせた自立支援の場として、個別支援計画を立て、支援目標を意識し支援していく。
・地域との連携、近隣施設との関わりを積極的に行う。
・他事業部の定例会、子ども部会の勉強会、研修に参加し、職員のスキルアップを高める。

(5)あだち子育て応援隊(子育てホームサポート事業)

・待機児童数の減少により、利用数の減少/利用形態の変化が見込まれるが、昨年と同等維持を数値目標として、業務体制の安定化と生産性向上に努める。
・サポーター同士の交流、事務局とのさらなる信頼関係構築を効率よくはかるための仕組みを整備する。
・コーディネート業務の電子化、請求業務のフロー見直しを行い、生産性を高める。
・子育て応援隊の広報を強化し、ニーズの掘り起こしを行う。

(6)新田キッズルーム

・事務所サイドと現場サロンとの関係性、広報を課題として、事業を再度整える。
・事務所サイドのサポートによる、適切なタスク管理、労務管理、現金管理の体制を再構築する。
・現場スタッフ同士のコミュニケーションを活性化する。
・広報活動をテコ入れし、チラシ配布や掲示物の定期更新など、地域密着のアピールを続ける。
・サロン自主企画の内容を選択、集中し、イベントを盛り上げ、認知度向上をはかる。

(7)ちびっこガーデン

・今年度は指定管理業者が更新年度となるため、安心・安全管理に重点を置いた運営を行う。
・新リーダー着任に伴い、事務所サイドのサポートを手厚くし、運営を行っていく。
・ウェブサイトの更新を定期的に行い、広報活動を現場に定着させる。

(8)地域保健センター/男女参画プラザ集団保育事業

・経験の浅いサポーターの修練の場として、また、リーダーとしてまとめる経験の場として活用しながら、継続してニーズに応えた運営を進める。
・各拠点自体との信頼関係を構築し、今後の法人活動において地域ごとの関係性を強めていく。

(10)一時保育独自サービス

適切な事務処理フローを構築し、ニーズに応じた社会的役割を担っていく

Ⅱ.組織運営関係全般

・各事業部内で収支を含めた事業を計画的に実施できるよう、事業理事を各事業ごとのトップとした体制とし、必要に応じて事務長職を配置して、将来の管理者/責任者を育成しつつ、事業部の自立性を高めながら、事業部間で連携し、事業運営する体制を構築する。
・相談支援事業を強化し、総合的な障がい支援の相談/計画/支援をワンストップで実施して、既存事業への展開を広げていく。
・法制度改定、私募債返還などに伴う経営状況を正確に把握し、法人としての準備体制を整え、適切な事業運営に取り組む。
・法人理念、方針の柱を職員一人一人が自ら考え、チームとして行動できるような体制を、事業理事主導で進めていく。
・各事業計画に基づく教育受講制度、表彰制度の活用を促しながら、適正に評価して、働く環境の向上に努める。

第4号議案

平成29年度　特定非営利活動に係る事業会計収支計算書(案)

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

特定非営利活動法人　ぷらちなくらぶ　　(単位:円)

科　　目	金	額	
（資金収支の部）			
Ⅰ．経常収入の部			
1.　会費・入会金収入		150,000	
正会員会費	150,000		
2.　事業収入		311,700,000	
ケアマネ事業		19,000,000	
訪問介護/総合支援事業		98,000,000	
・訪問介護/介護予防事業	23,000,000		
・総合支援/相談支援事業	75,000,000		
小規模多機能型居宅介護事業		70,000,000	
児童ディサービス事業		35,000,000	
子育て支援事業		89,700,000	
・応援隊事業	75,000,000		
・キッズルーム/ガーデン事業	13,000,000		
・集団/一時独自保育事業	1,700,000		
3.　助成金・寄付金収入		1,500,000	
経常収入合計			313,350,000
Ⅱ．経常収出の部			
1.　事業費支出		248,000,000	
ケアマネ事業費	14,000,000		
訪問介護・総合支援事業	70,000,000		
小規模多機能型居宅介護事業	55,000,000		
児童デイサービス事業	25,000,000		
子育て支援事業	84,000,000		
2.　管理費支出		58,200,000	
給料手当	16,000,000		
福利厚生費	4,000,000		
採用教育費	2,000,000		
広告宣伝費	1,500,000		
旅費交通費	2,500,000		
通信運搬費	2,000,000		
消耗什器備品費	3,000,000		
修繕費	1,000,000		
保険料	1,000,000		
租税公課	1,500,000		
交際費	500,000		
水道光熱費	1,000,000		
法定福利費	4,000,000		
リース料	2,000,000		
減価償却費	2,500,000		
消費税等	8,000,000		
諸会費	100,000		
支払手数料	600,000		
支払報酬料	4,500,000		
雑費その他	500,000		
経常収出合計			306,200,000
経常収支差額			7,150,000
経常外収益			200,000
経常外費用			3,000,000
当期収支差額			4,350,000
法人税等			3,361,094
当期正味財産増減額			988,906
前期繰越資金有高			87,562,058
次期繰越収支差額			88,550,964

第５号議案

理事及び監事選任の件

各理事(3 名)及び監事(１名)は、平成 27 年 5 月 26 日を以って任期満了となりますので、新たに理事及び監事を選任したいと存じます。

現在の役員構成

理事長	小谷典史
理　事	沓沢一貴
理　事	森岡孝之
監　事	鈴木晋作

本年度理事及び監事候補者については、次のとおりであります。

＊ 理　事　小谷典史
＊ 理　事　森岡孝之
＊ 理　事　中田美奈子
＊ 理　事　小柳夏江
＊ 監　事　鈴木晋作